

## R4 課題研究発表会 評価シート（教員用）

ポスター番号

←ボード左上の番号（例 化-A1）を記入してください。

観点	研究テーマ		計画		結果		考察	体裁	
	オリジナリティ	仮説の設定	方法	予備調査研究	データ	解釈・まとめ			
A	生徒自身の疑問に基づいたオリジナルの課題設定であり、主体的にテーマに取り組んでいる。	研究の目的・課題が明確に示され、それに対する結果の予測が論理的に行われている。	課題解決を進めるために多角的な検証方法で研究されている。	予備調査・先行研究がテーマに合わせて十分に調べられており、出典・引用元が明らかである。	研究目的を達成するために選択した研究方法、分析方法を実施するのに十分適合する量のデータ・資料を収集している。	資料や得られたデータを図やグラフで分かりやすくまとめ、文章により客観的な説明がなされている。	目的で示された課題に対する考察が研究結果にもとづいて明確に考えられている。	右の評価する3点すべてで適正に行われている。	
B	同様の先行研究はあるが、研究方法などに生徒独自の創意工夫がみられる。	研究の目的・課題が示されているが、説明が不十分あるいは間違っている。研究範囲が広すぎる。	方法が示されているが、対象実験がないなど手順が一部適切でない、あるいは学校で実施する方法として不備がある。	予備調査・先行研究調査がなされているが、出典・引用元が明確でない。	データ・資料を収集しているが、選択した研究方法、分析方法を実施するのに十分な量とはいえない。	図やグラフ、説明文のどれかが不十分である。	研究結果をふまえた考察としては妥当だが、考察に飛躍がみられる、目的で示された課題との関連が明確でない。	右の評価する点の1点は適正に行われている。	①グラフや図にタイトル・単位等が示してある。 ②文と文が論理的につながっている。 ③専門用語が正確に使用されている。
C	課題設定、研究方法、仮説等に独自性や主体性がみられない。	研究の目的・課題が示されていない。仮説の設定がない、あるいはテーマと一致していない。	仮説を検証する方法として研究方法が適切でない。	予備調査・先行研究調査がなされていない、ほとんど見受けられない。	収集した量のデータ・資料では、選択した研究方法、分析方法を実施できない。	結果が示されているが、羅列されているだけであり、説明も十分でない。	考察が述べられていない、不適切である。	右の評価する点のすべてが不十分である。	

※すべての観点について、A～Cのいずれか1つずつ、当てはまるものに○を記入してください。